

## 古着の寄付をお願い致します。



「ホザナ・ファクトリー」では、寄付でいただいた衣類等を活用して、支援を必要としている方々に物資と資金を提供しています。そのために常にたくさんの衣類を求めています。ご家庭や職場で不要な衣類がありましたら、ぜひ「ホザナ・ファクトリー」に寄付をお願い致します。

〒652-0041 兵庫県神戸市兵庫区湊川町 4-8-14  
メゾンドール湊川 1F

チャリティショップ「ホザナ・ファクトリー」宛

## NPO 法人「ホザナ・ハウス」では、新規賛助会員様及び「ガールズシェルター」の一日オーナー様を募集します。

少年犯罪と成人犯罪の間、また養育環境の悪さや、生きづらさをもって育ち、犯罪に巻き込まれる間に行政の手が届いていない空白部分が存在します。「ホザナ・ハウス」の使命は、現在の公的支援制度の空白部分でさまよう少年たちに寄り添い、社会的養護を受けられない少年たちに、居場所と食事を提供し、愛を持って少年たちに寄り添うことにより傷を癒し自立を促し、少年たちの幸せと将来起こりうる犯罪と被害者を減少させる、明るい社会づくりを目指しています。

### 募集内容 年会費

* 賛助個人会員 様	年間一口	5,000円
* 賛助団体会員 様	年間一口	30,000円

### 「ガールズシェルター」一日オーナー様

* 個人様、団体様	年間一口	10,000円
-----------	------	---------

ゆうちょ銀行 振替口座 00920-201487 名義 NPO 法人ホザナ・ハウス

今後とも、子どもたちのために NPO 法人「ホザナ・ハウス」を応援支援くださいますようにお願い致します。

〒657-0034 兵庫県神戸市灘区記田町 5 丁目 6 番 20 号 灘ロイヤルハイツ 2F  
TEL/ 078-858-8566 FAX/ 078-385-3398

NPO 法人 ホザナ・ハウス



NPO 法人 ホザナ・ハウス

2019 年 1 月 1 日発行  
ニュースレター NO. 22

- 1 昨年を振り返って
- 2 新年の抱負  
「ホザナ・ハウス ガールズ」
- 3 新年の抱負  
「ホザナ・カフェ」

子どもの権利条約第 20 条は、家庭環境にとどまることができない子どもは、特別の保護と援助を受ける権利があると定めています。様々な理由により行き場を失った子どもたちに対して安全な居場所、理解ある大人の適切な支援が保証されなければならないことは、単なる施しとしてではなく、子どもが成長し発達するための権利として規定されているのです。NPO 法人「ホザナ・ハウス」は、子どもの権利を守る立場と、更生保護・児童福祉の立場で少年院・児童養護施設等の出身少年たちの自立を助けるために設立されました。

## 謹賀新年 謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご愛顧にあずかり、心より感謝申し上げます。本年も、居場所のない子どもたちや、生きづらさを覚える人たちに、必要を届けるため、心を尽くし、精神を尽くして努めたいと願っています。

### 1 昨年を振り返って

昨年も賛助会員の皆様方には、「生きづらさ」を持つ青少年たちの働きにご賛同頂き、多くの捧げものによってお支え下さったことを、心より感謝申し上げます。

「ホザナ・ハウス」は昨年 3 月に「カリス・ホームボーイズ」を開設しすでに 5 名が退所し、内 3 名が自立しています。現在も 3 名の少年が自立に向け暮らしています。

9 月には、一般社団法人 colabo 様との協賛でパネル展「私たちは買われた」展を催しました。賛否はありましたが、多くの励ましを受け、少女たちの居場所づくり「ガールズシェルター」に弾みがつきました。しかし、実現化するためには沢山の問題をクリアする必要があることが分かりました。特に人員体制の問題は深刻です。次の章で詳しく記しますが、365 日電話対応して 365 日少女たちを受け入れるためには、多くのマンパワーが必要です。現状のスタッフでは対応しきれないと分っていましたが、勇み足ぎみでした。



毎年「NPO 法人関西フードバンク」様より食料品の寄付を頂いております。昨年は「財団法人木口財団」様より、「ホザナ・ルーム」に送迎車購入の助成金をいただきました。他団体様からも助成金を頂きました（後述）。心より感謝申し上げます。

## 2. 新年の抱負

### 「ガールズシェルター」

短期シェルターに、帰る場所がなく街で危険にさらされている少女の受け入れを、昨年中に実施したいと願ってきましたが、クリアしなければならない問題が多くあり、もう少し準備に時間を掛けることにしました。

法的な空白部分にさまよう少女たちを支えるためには沢山のマンパワーが必要ですが、法的な裏付けのない「ガールズシェルター」では、人件費を賄うことはできません。

そこで、無償で自発的に社会活動に参加くださる「ボランティア」の力を借りることにしました。しかし、ボランティア活動自体多様で、活動を希望される方々も迷いがあるようです。

事実「ホザナ・ハウス」グループでボランティアをされている方も、初めは何をすればよいのか？何ができるのか？と悩んでおられました。少女少女に何が不足していて、何が必要なのかは寄り添って見ないと分からないからです。

今年から改めて、ボランティア募集をします。いくら説明をしてみても、例えでしかお話できませんが、個別でお話をするよりも日時を決めて複数のボランティア希望の方々に説明をさせていただきます、もちろん質疑応答の時間も設けます。

「ガールズシェルター」のもう一つの問題は運営資金です。何をするとしても一番必要なものですが、あえて2番目にしました。今日まで「NPO法人ホザナ・ハウス」を運営してきましたが、資金ショートを起こす度に、必要が備えられる体験をしているからです。昨年9月のパネル展は「兵遊協・ハートフルファンド」様の助成金（80万円）で、SOSカード等の印刷物は「赤い羽根共同募金」様の助成金（30万円）によって作成しています。「NPO 法人しみん基金・KOBE」様からは、「ガールズシェルター」の運営資金の一部（50万円）を助成いただいています。全てにおいて感謝ではありますが、それらは一部であって一時的助成です。

必要は備えられるという信仰はありますが、あくまでも短期的なものであって、長期的な支

NPO法人 ホザナ・ハウス  
ボランティア募集  
誰でもできます！ 少年少女の支援をしています  
社会で生きづらい 子どもたちを支えましょう☆  
ボランティア講座 & オリエンテーション参加者募集  
「いつ何をしたいの？」「資格やスキルは必要なの？」...  
疑問が行動を遅らせている方がおられましたら、ボランティア講座に参加されてはいかがでしょうか。  
毎月 第3土 14:00~(2時間) ホザナ・カフェ  
兵庫県神戸市東灘区 3-5  
Tel.0797-22-7020  
法人代表、各事業所、ボランティア活動、文芸、相談等のサポートを行います。  
ホザナ・ハウスの事業  
●ガールズシェルター ●ホザナ・ハウス ●自立援助ホーム ●カリス・ホーム  
●放課後等デイサービス事業所 ●ホザナ・ルーム ●ホザナ・ファクトリー ●ホザナ・カフェ  
●就労継続支援R型事業所 ●地域活動支援センター  
ホザナ・ハウスの使命は、現在の公的支援制度の空白部分でさまよう少女たちに寄り寄り、社会的養護を受けられない少女たちに、居場所と食事を提供し、愛護の心を持って少女たちの命を救い、自立を促すことです。  
お問い合わせ・お申し込み  
J.J.W.M.神戸女子教会  
NPO法人 ホザナ・ハウス  
〒651 0031 兵庫県神戸市東灘区肥田町5-6-20 聖ロイヤルビル2階  
Tel.078-858-8566 Fax.078-385-3398  
E: info@hozana-house.com  
H: www.hozana-house.com

えが必要なのです。短期間で少女たちを守る法は出来ません。短期間で少女たちが居場所を見つけ立ち直ることはできません、この働きは忍耐強く、一人ひとりに年単位の継続的な支援が必要なのです。「ガールズシェルター」の年間運営資金を500万強と試算しています。NPO法人の指定事業などの収益を充当していきますが、継続させていくには、しっかりとした裏付けが必要となります。

そこで「ガールズシェルター」の一日オーナーを募集することにしました。

お一人様 年一口1万円で口数、個人、法人は問いません。

願わくは365口が満たされ、安定した「ガールズシェルター」の運営が出来、居場所を失った少女たちが一人でも多く救われますように、お願いいたします。

## 3 「ホザナ・カフェ」

昨年の11月1日付で、兵庫県に地域活動支援センター「ホザナ・カフェ」開設の届を提出しました。様々な障害により生活のしづらさ、生きづらさを持つ方や、引きこもり状態の方に日中、一人ひとりにあったスピードでゆったりと過ごしてもらえる「居場所」として、不登校児には学習支援を提供する「フリースクール」として、また日常生活での困りごとを相談できる機会の提供など、地域社会との交流を促進する役割を持つ「ホザナ・カフェ」をオープンいたします。

地域活動支援センターは、障害者手帳の有無に拠らないなど、利用者の制限が緩いので、「生きづらさを」もつ人なら誰でも利用できます。

「ホザナ・ハウス」の事業は、目的をもって綿密な計画を立てて行くのではなく、必要に迫られて起こすといった事業です。「ホザナ・カフェ」も「ガールズシェルター」同様、必要だから作ろうというもので、意識こそ高いのですが、現実的にはかなり無理のある計画が多いのも事実です。

「ホザナ・カフェ」でも他の事業同様に、オープンするまでに課題が沢山あり、費用も当初の予定より多く掛かりそうです。そこで自分たちでできることはしようと、スタッフ中心で内装を手掛けています。全くの素人の施工ですが、何とか仕上がっています。

年明けに厨房の工事を終わらせて、1月第3土曜日のボランティア講座に間に合わせる予定です。

ピアノの寄贈を受けましたので、ミニコンサート等もプログラムに入れていきます。

「生きづらさ」を持つ人たちが救われますように願いつつ。

